



○ 授業風景

夏休みが一応終了し、全体的に講義が始まりました。それぞれの学科やコースにより内容はさまざまですが、少し紹介してみたいと思います。

リズム表現

弘中講師と1年生が多目的教室で行っていました。手をつないで潜り抜けたり、リズムに乗って“バンブーダンス”に取り組んだりと様々な動きを体験していました。手遊び歌のあと子どもたちを静かに集中させたいときは「～おててはひざの上～♪」としめくくったり、子どもたちの元気がなさそうふんいきのときは歌のあとに“くすぐり合い”などを取り入れて気分を盛り上げたりと、同じ歌でも目的に応じて臨機応変に仕組んでいくテクニックなどを学んでいきました。参加してみたい気持ちはありましたが、私はリズム感にちょっと自信がないので遠慮しておきました。



就業体験実習

徳山商工高等学校から2年生の中川さんがやってきて、本校で4日間プログラミングなどの体験をしています。本校のITビジネス学科は来年からYICビジネスアート専門学校へ統合されますので残念ですが、まだ2年生なので進路はこれからいろいろと探っていくことと思います。この4日間の体験がよい経験になればと願っています。



体験学習自賛

私は中学校に勤務していましたので、中学2年生が3日間の職場体験学習をする姿をたくさん見てきました。少し大きめの学校の際は依頼した事業所が50を超えました。私はすべての場所にあいさつをして回ったことがあります。するとそれぞれの場所でいろいろなお話を聞くことができ私自身の勉強にもなりました。

私がフリーターで鉄筋工の仕事をしていたことは以前少しお知らせしました。体が慣れるだけでも2か月かかりましたので、中学生がたった3日間の体験学習で何が学べるのだろうと想像していた時期もありました。しかし今は、「体験しないよりはした方が絶対によい。」というふうに考えています。これは他の面にもいえることではないかと思えます。誰かが言っていますね。「しないで後悔するよりは、挑戦したうえで後悔した方がよい。」微妙に今回の話題とニュアンスが違うかな？